

令和3年度 大阪大学 数理・データ科学教育研究センター(MMDS)  
アドバイザー会議議事

○日時：令和4年3月10日（木）10：00 -

○開催形態：Zoomによるオンライン開催

○出席：アドバイザー会議委員、MMDS 教員

○議事：

1. 文部科学省事業「大学における数理・データサイエンス・AI教育の全国展開」認定コースの申請と運営について、副センター長より報告があった。
2. 数理・DS・AIリテラシー／応用基礎教育プログラムの自己点検評価について、副センター長より報告があった（次ページ以降参照）。
3. 広報について  
鈴木副センター長より、数理・DS・AIリテラシー／応用基礎教育プログラム専用のホームページ新設についての報告があった。

4. アドバイザー会議委員より、以下のコメントをいただいた。

・取組の内容と実際のデータをみせてもらい、ありがとうございます。ご苦勞もお有りかと思えます。実社会（産業界）からのニーズから求められる人材については気になるところである。今ある学術体系の中でどう融合するのか、実例をみながら取り組むためそんなに焦る必要はないかとは思いますが、今後の社会経済にとっては非常に重要な分野であり、引き続きよろしくお願ひしたい。尚、焦る必要がないかもしれないがスピード感は大事であるので、それについても引き続きよろしくお願ひしたいと思う。

・当初よりアドバイザーとして参加してきたが、鈴木先生始めスタッフの教員の方々のご尽力で物凄く大きく育ってきたというのが率直な感想である。1つお聞きたいのは、全国にブロックがあつて、大阪大学は関西地区の代表としてやっておられるかと思うが、他の地区との連携はどうしているのか。例えば、生命科学の分野では、最先端の機器を必要とするが連携先は少なく、高額の機器を購入しても、5年後には古いといわれてしまう。研究力低下と言われる中、全国でサイエンスを盛り上げることは非常に重要なことだと思っている。データサイエンスというものは、大学内でなくとも全国どこでも場所を問わずオールジャパンでレベルアップできるサイエンスだと考えられる。阪大で取り組むことはよく理解しているが、他の地域の大学等とどう組んでおられるのか。

・文系の学部生は、社会に出ていく人文系学生に向けてはデータを使わざるを得ないということを理解してもらいたい。そういった教育指導も大事である。

## 5. 副センター長からの回答

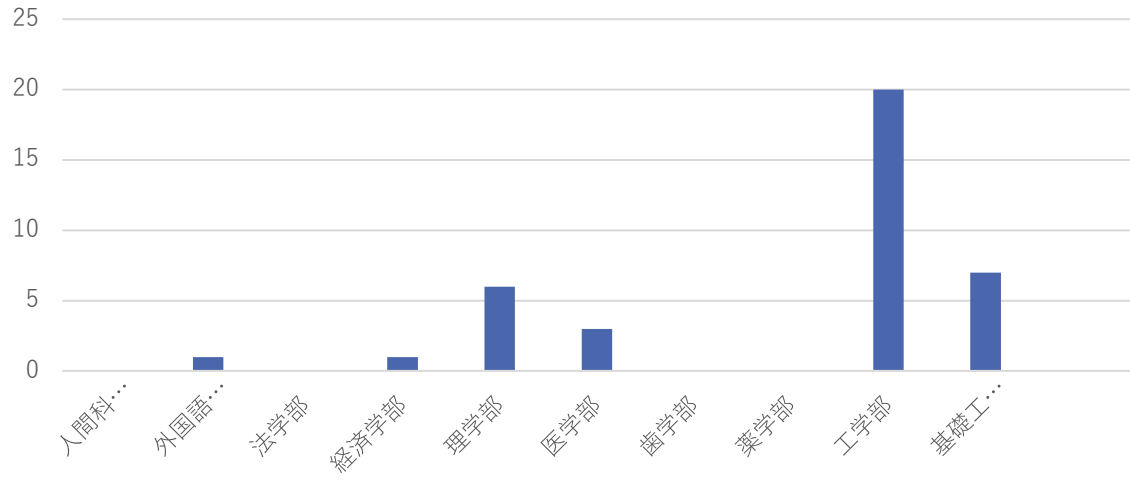
・令和3年度から4年度にかけて複数の事業の組み換え、大学の新規中期計画の策定があり、センターでは事務、教員、部屋割りを含めて大幅に体制を変更してきた。次々に発生する課題に対して、スリム化、効率化、DXを進めて対処しているところである。

・他大学との連携については学部教育では大学レベルやセンターの連携部局では難しいことがわかったため、実施部局間で西日本アライアンスを結成し、協定を結んでウェブを使った共同PBL運営を実施している。(令和3年9月に実施。参加大学：大阪大学・和歌山大学・広島大学・愛媛大学・高知大学・島根大学・広島工業大学、参加人数：学生128名、教員34名)

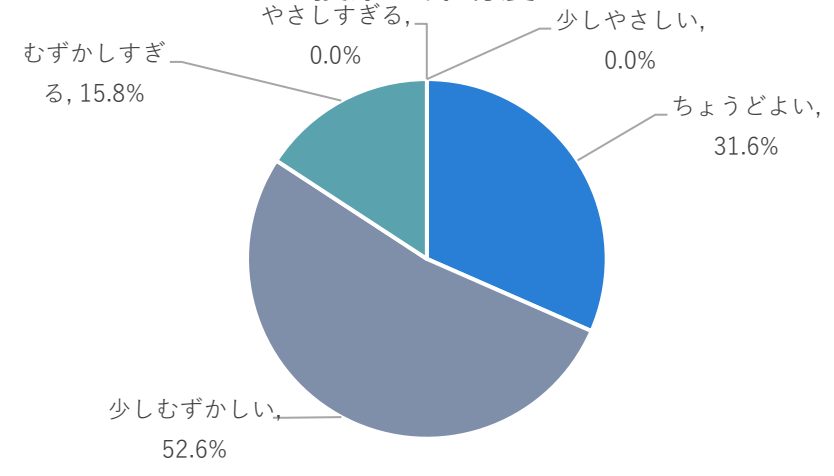
・学部後期の応用基礎レベルでは専門科目が入ってくるため、コース設計にあたり全学部の学部長、教務委員長、事務部と懇談して選択必修科目、選択科目を定めてカリキュラム設計を行った。全学向けコースの他、文系では法学部、文学部、経済学部、人間科学部については独自の科目設定を行い、実践している。

# 大阪大学 数理・DS・AI応用基礎教育プログラム 選択必修科目「データ科学のための数理」 令和3年度（2021年度） 授業評価アンケート

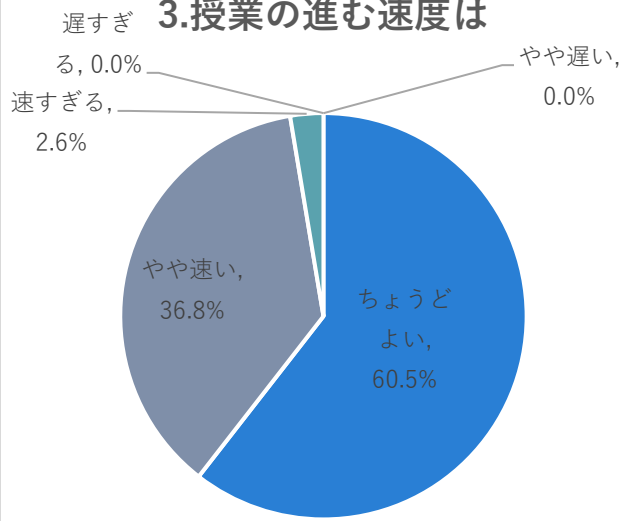
### 1. アンケート回答者の所属(回答者数：38)



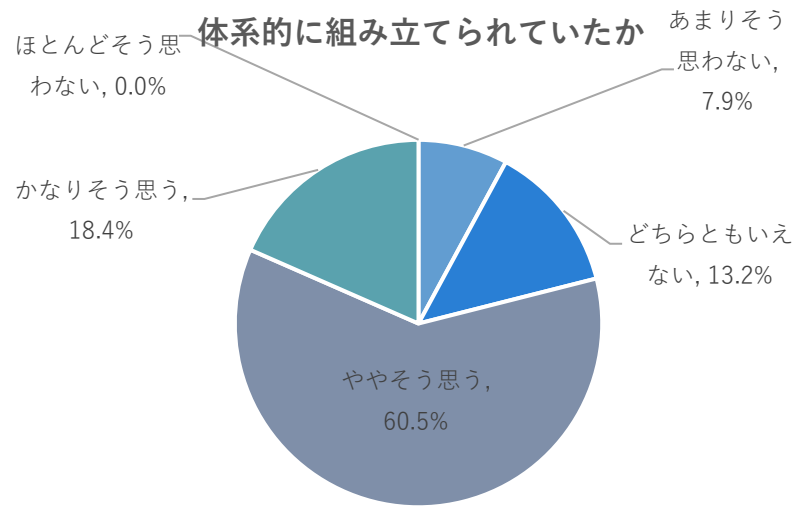
### 2. 授業の難易度は



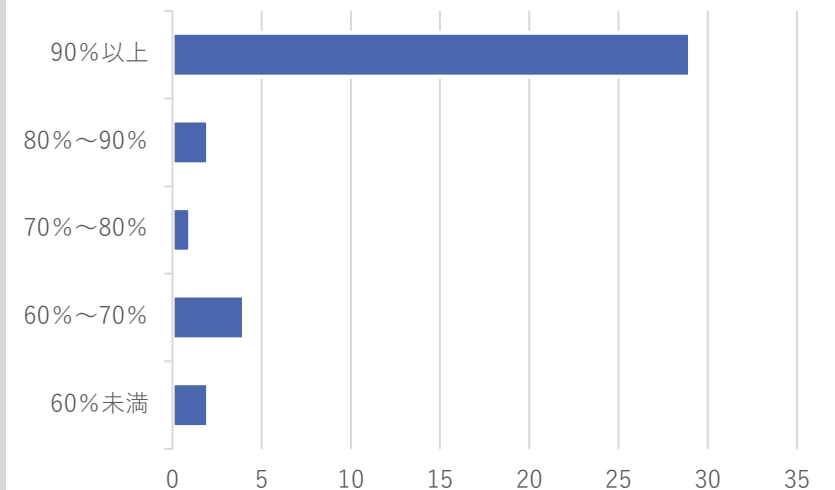
### 3. 授業の進む速度は



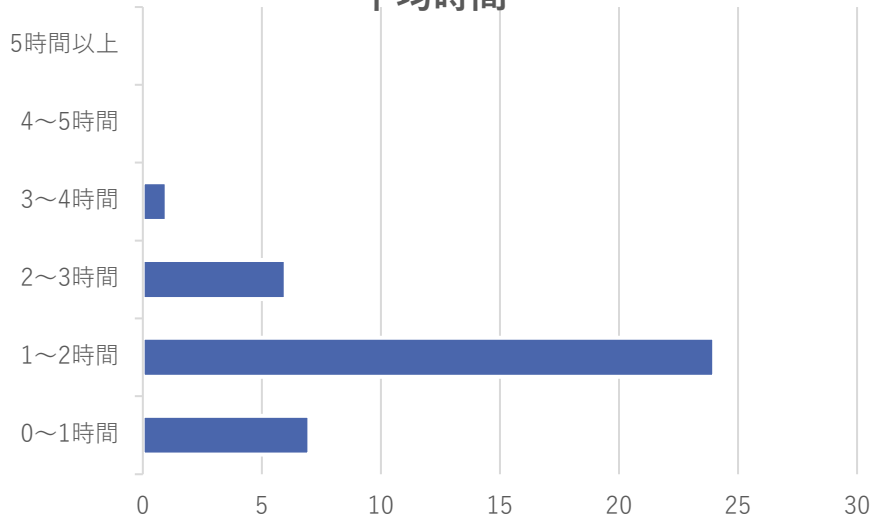
### 4. 授業は、シラバスに沿って



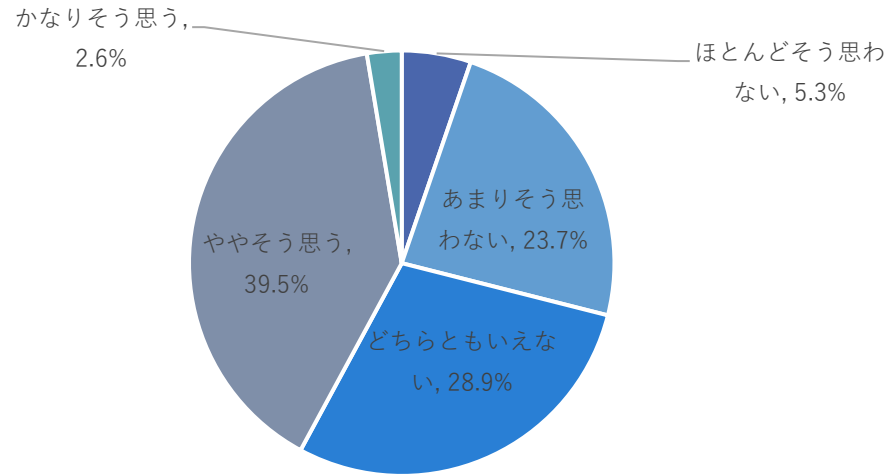
### 5. この授業に時間通りに出席した割合



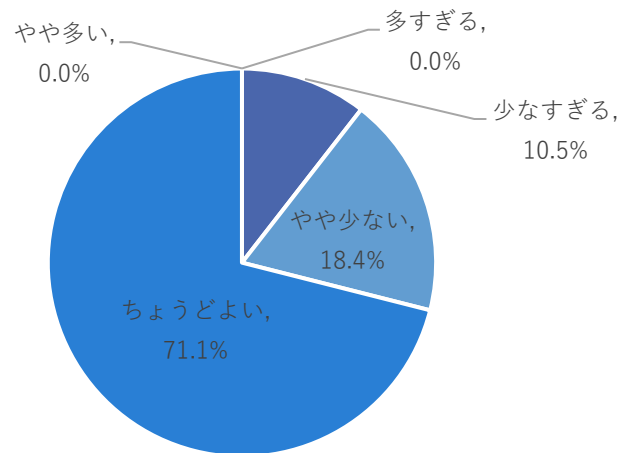
6.この授業の学習にあてた1週間当たりの  
平均時間



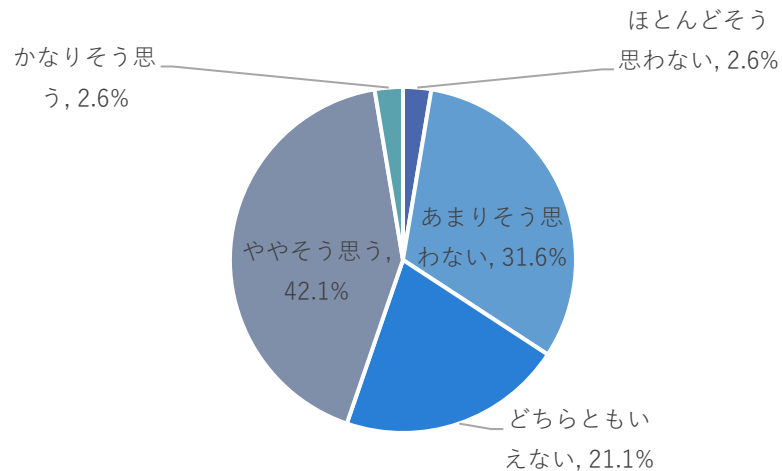
7.教員の指示・説明は、わかりやすかった。



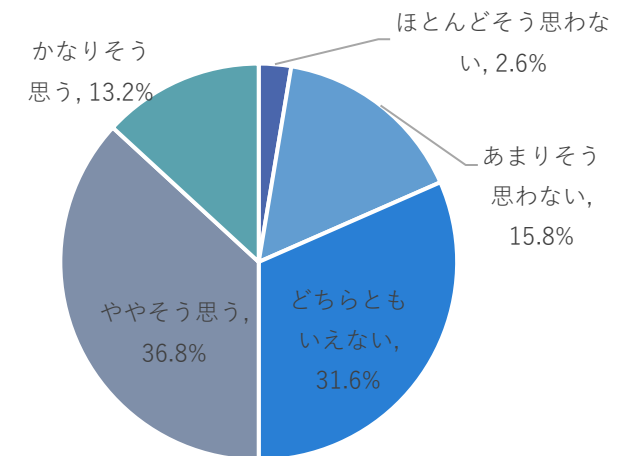
8.授業で課された課題の分量は



9.この授業を通して、身につけるべきものとして  
期待された学習成果が得られたか



10.総合的に見てこの授業に満足しているか



### 11-1. この講義の良かった点

何とか授業についていくことができた。

過去問を載せてくれた点は良かったと思う。

授業で使用したスライドや授業動画をCLEにアップロードしていただけるのはありがたかったです。

### 11-1. この講義の改善してほしい点

数学と絡められていたが知らないことが多く授業について行けなかった。

わかりやすいし将来役に立ちますが、行列を知らないのでとっつきにくかった。

習っていない範囲の事柄が出たときに混乱してしまった。もう少しそのあたりの説明が必要だと思う。

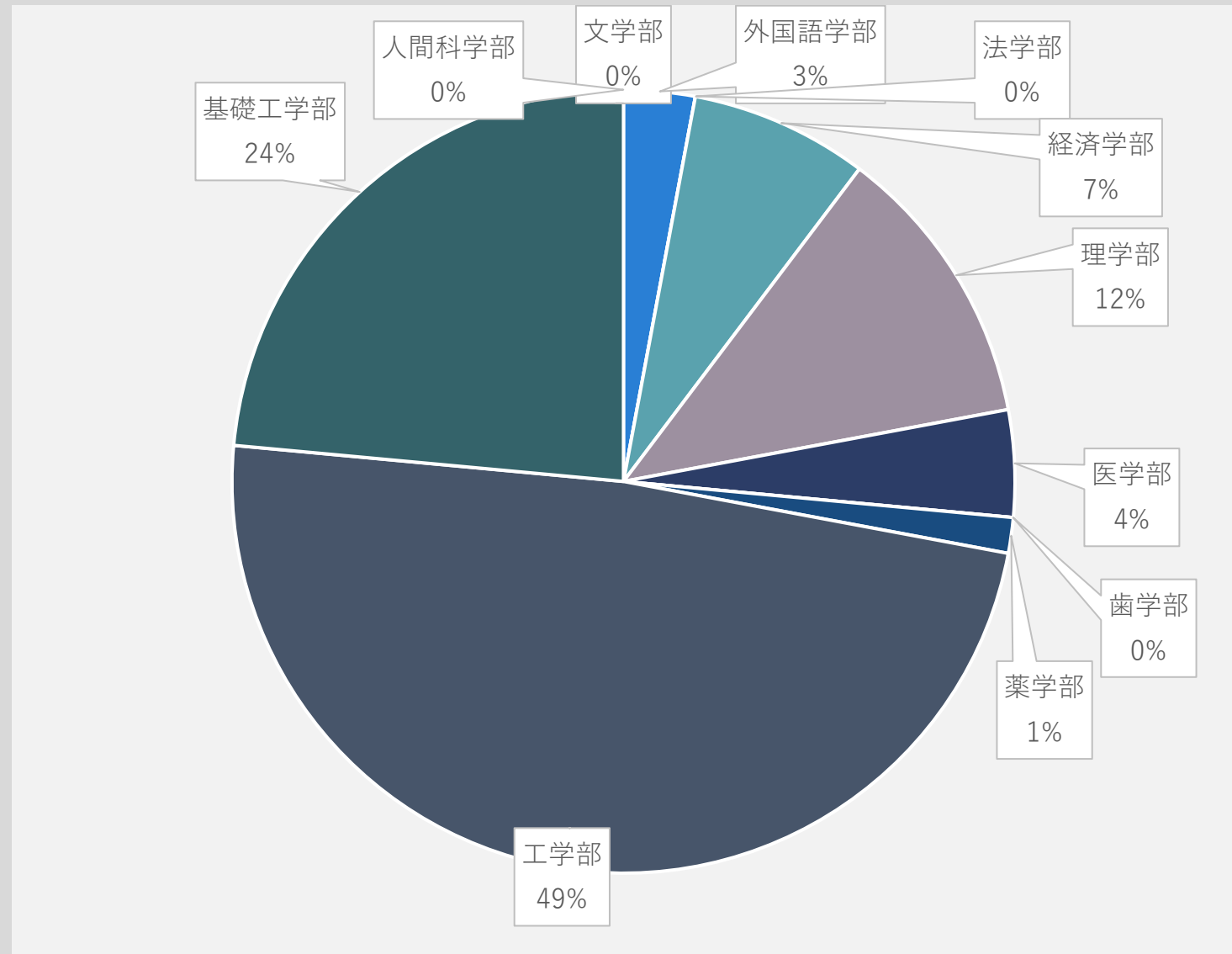
線形代数をしっかり理解してから、受けたかったと思う授業でした。

行列計算などの大学数学的要素が難しく、授業内での解説などよく配慮していただけるとありがたいです。

教科書もなく、とても難しかった。

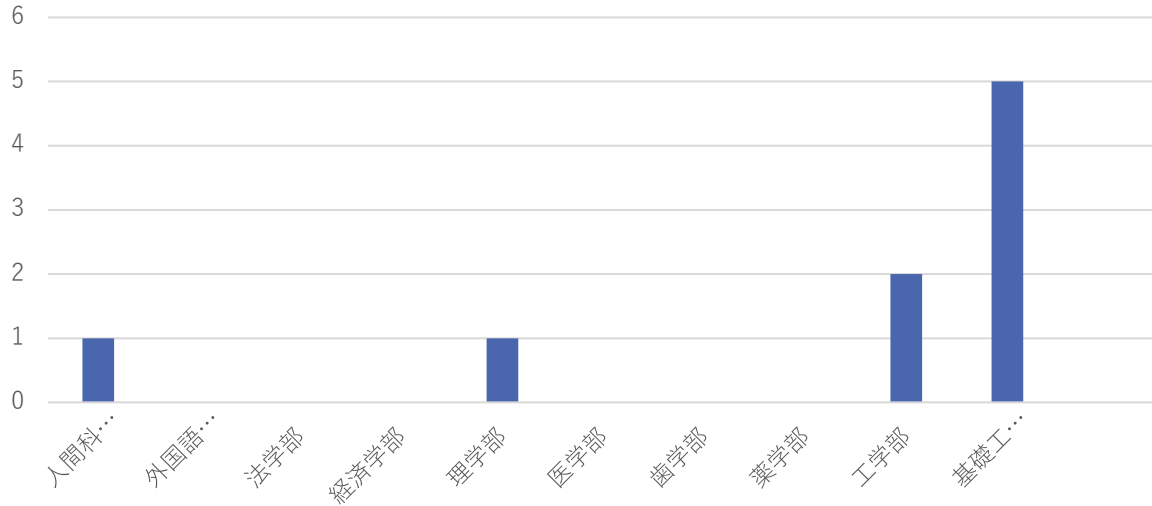
大阪大学 数理・DS・AI応用基礎教育プログラム 選択必修科目「データ科学のための数理」  
令和3年度（2021年度） 学部別受講者数・割合

学部名	受講者数	%
文学部	0	0.0%
人間科学部	0	0.0%
外国語学部	2	2.9%
法学部	0	0.0%
経済学部	5	7.4%
理学部	8	11.8%
医学部	3	4.4%
歯学部	0	0.0%
薬学部	1	1.5%
工学部	33	48.5%
基礎工学部	16	23.5%
計	68	

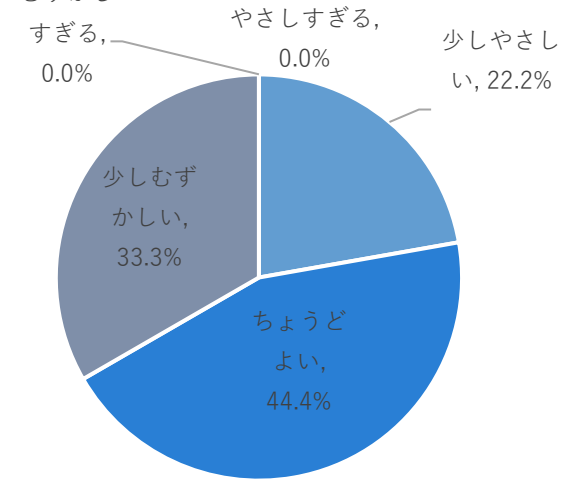


# 大阪大学 数理・DS・AI応用基礎教育プログラム 選択必修科目「データ・AIエンジニアリング基礎」 令和3年度（2021年度） 授業評価アンケート

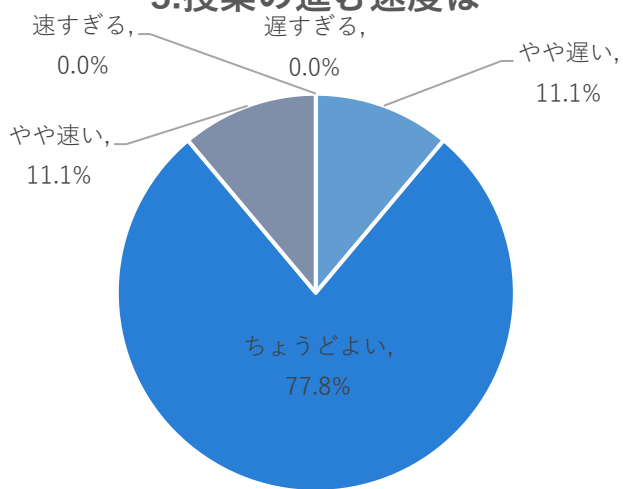
### 1. アンケート回答者の所属(回答者数：9)



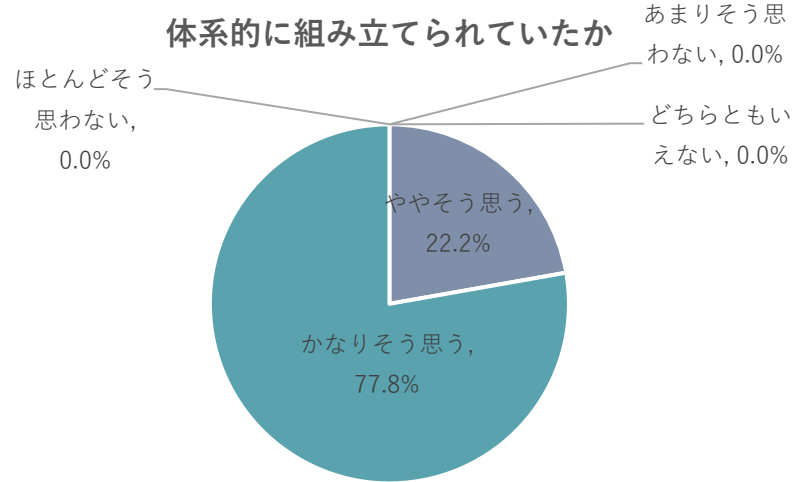
### 2. 授業の難易度は



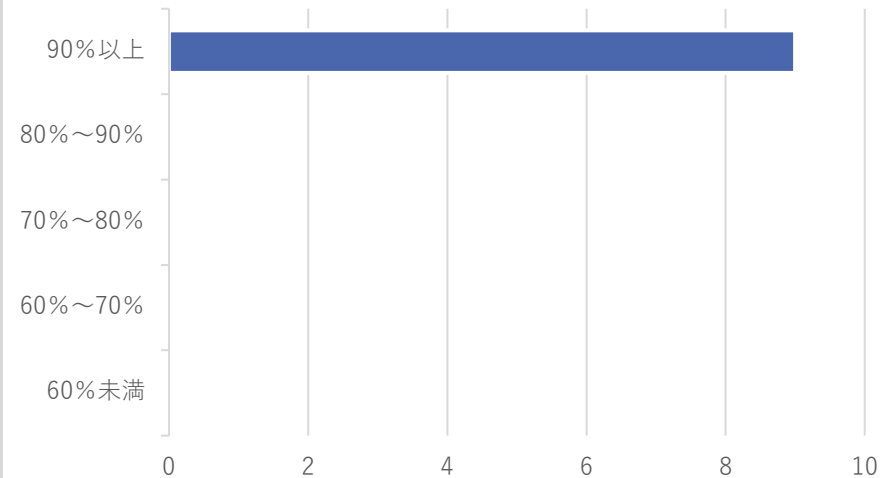
### 3. 授業の進む速度は



### 4. 授業は、シラバスに沿って体系的に組み立てられていたか

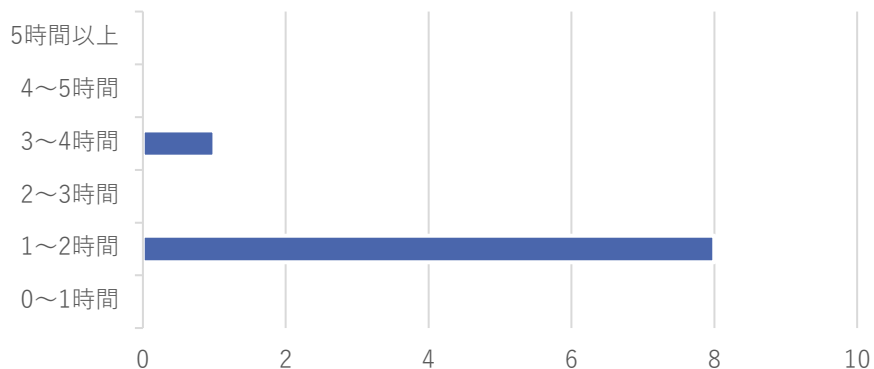


### 5. この授業に時間通りに出席した割合

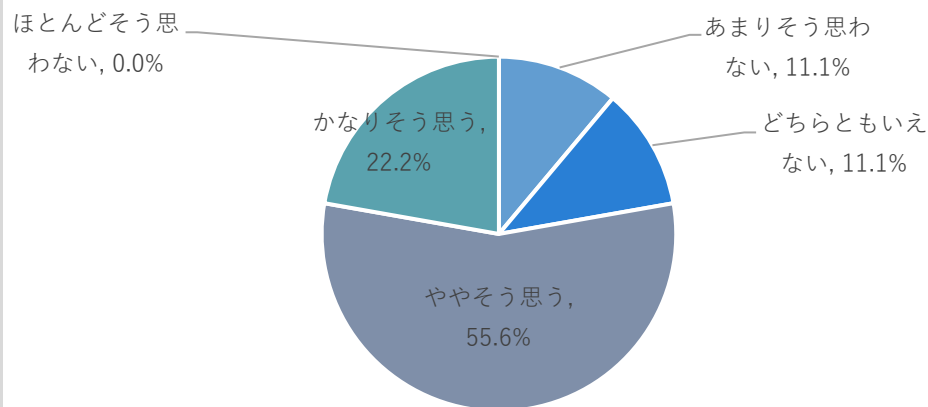


# 大阪大学 数理・DS・AI応用基礎教育プログラム 選択必修科目「データ・AIエンジニアリング基礎」 令和3年度（2021年度） 授業評価アンケート

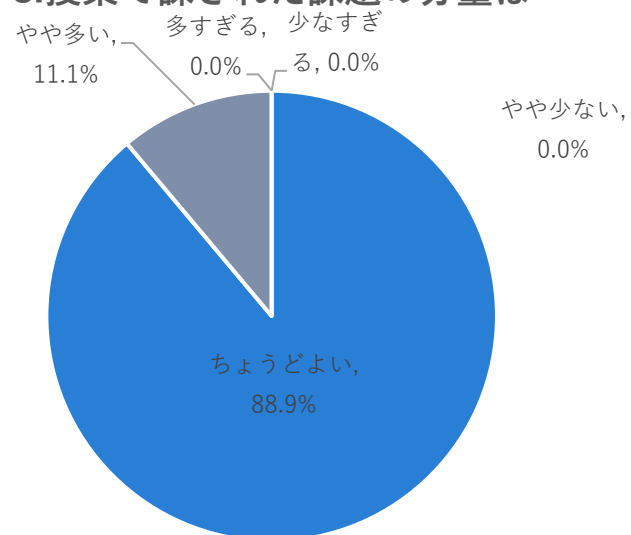
## 6.この授業の学習にあてた1週間当たりの 平均時間



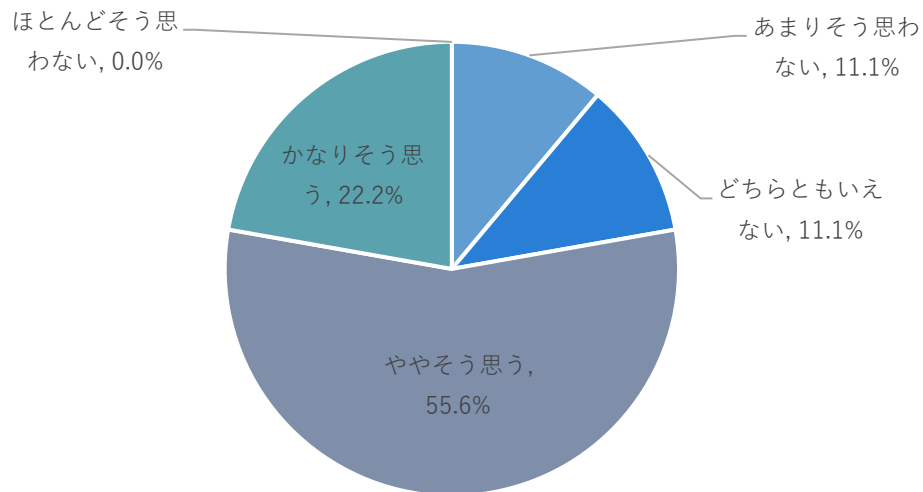
## 7.教員の指示・説明は、わかりやすかったか



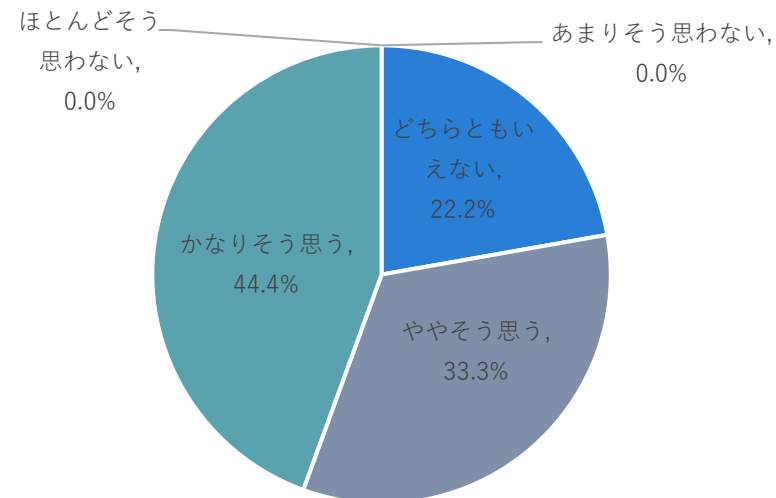
## 8.授業で課された課題の分量は



## 9.この授業を通して、身につけるべきものとして 期待された学習成果が得られたか



## 10.総合的に見てこの授業に満足しているか





## 11-1. この講義の良かった点

機械学習について数学的な面や、技術的な面、社会的な面からどのような特徴を持ち、どのような使い方をするのか  
知ることができてよかった。

対面授業に出席できない場合はCLEの資料で学習することが可能だったので出席できなかった時に助かりました。

大阪大学 数理・DS・AI応用基礎教育プログラム 選択必修科目「データ・AIエンジニアリング基礎」  
令和3年度（2021年度） 学部別受講者数・割合

学部名	受講者数	%
文学部	0	0.0%
人間科学部	1	2.8%
外国語学部	2	5.6%
法学部	0	0.0%
経済学部	4	11.1%
理学部	4	11.1%
医学部	0	0.0%
歯学部	0	0.0%
薬学部	0	0.0%
工学部	11	30.6%
基礎工学部	14	38.9%
計	36	

